

小規模企業景気動向調査

[平成16年9月期調査]

依然、回復基調に乗り切れない小規模景況

平成16年10月14日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：平成16年9月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体>

9月の小規模企業景気動向調査によると、産業全体のD.I.(景気動向指数・前年同月比)は、売上額がマイナス16.9(前月比マイナス6.4ポイント)、採算がマイナス21.4(同マイナス4.5ポイント)、資金繰りがマイナス20.8(同マイナス2.9ポイント)、業況がマイナス23.2(同マイナス3.9ポイント)となった。製造業は一部では改善傾向が見られるものの原油価格及び原材料の高騰の影響により厳しい状況であり、建設業は災害復旧工事が多いという回答が多く改善傾向が見られた。小売業は残暑で秋物商品の売れ行きが伸びず、サービス業は顧客減少、競争激化により苦戦を強いられた。今月期は、建設業以外の業種で大きく悪化しており、前月期から一歩後退したという調査結果となった。

<製造業>

製造業については、売上額がプラス1.4(前月比マイナス7.1ポイント)、採算がマイナス7.7(同マイナス4.8ポイント)、資金繰りがマイナス7.4(同マイナス2.0ポイント)、業況がマイナス6.9(同マイナス6.6ポイント)となった。機械金属加工業など一部の業種では受注量が増加しているとの回答が見られたものの、原油価格及び原材料の高騰、単価の引き下げにより厳しい状況が続いているとの回答が多く、全ての項目で悪化となった。

<建設業>

建設業については、完成工事額がマイナス27.3(前月比プラス13.0ポイント)、採算がマイナス38.2(同プラス5.4ポイント)、資金繰りがマイナス39.9(同プラス2.0ポイント)、業況がマイナス40.5(同プラス8.7ポイント)となった。依然として公共工事の減少により受注が乏しいという回答が多いものの、各地で大型台風による被害が発生したため災害復旧工事が活発に行われているとの回答が多く見られ、全ての項目で改善した。

<小売業>

小売業については、売上額がマイナス22.0(前月比マイナス22.0ポイント)、採算がマイナス23.8(同マイナス16.1ポイント)、資金繰りがマイナス21.0(同マイナス9.6ポイント)、業況がマイナス25.2(同マイナス13.7ポイント)となった。残暑で秋物商品が不振、台風・水害により野菜等が高騰、オリンピック終了という悪材料が重なった上、大型店進出の影響も相変わらず大きいとの回答が多く、前月から一転して全ての項目で悪化した。

<サービス業>

サービス業については、売上額がマイナス19.7(前月比マイナス9.5ポイント)、採算がマイナス15.8(同マイナス2.3ポイント)、資金繰りがマイナス14.9(同マイナス2.0ポイント)、業況がマイナス20.3(同マイナス4.3ポイント)となった。旅館業ではイベントの開催等に伴い宿泊客が増加したという回答が見られたが、飲食業、洗濯業、理美容業は、来客数が減少、価格競争が激化しているという回答が多く見られ、全ての項目で悪化した。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	10.5	16.9	6.4	8.5	1.4	7.1	40.3	27.3	13.0
採算	16.9	21.4	4.5	2.9	7.7	4.8	43.6	38.2	5.4
資金繰り	17.9	20.8	2.9	5.4	7.4	2.0	41.9	39.9	2.0
業況	19.3	23.2	3.9	0.3	6.9	6.6	49.2	40.5	8.7

業種	小売業			サービス業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	0.0	22.0	22.0	10.2	19.7	9.5
採算	7.7	23.8	16.1	13.5	15.8	2.3
資金繰り	11.4	21.0	9.6	12.9	14.9	2.0
業況	11.5	25.2	13.7	16.0	20.3	4.3

注)D.I.(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

問い合わせ先：振興部 振興課 渡部 TEL：03-3503-1256(直通)

E-mail: ml-sinkou@shokokai.or.jp